

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肛門周囲膿瘍に対する排膿散及湯投与の効果とその経時変化に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2020 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日に昭和大学病院小児外科で肛門周囲膿瘍と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

肛門周囲膿瘍は乳幼児に好発する疾患で、一般的には切開排膿の処置を要しますが、近年漢方製剤である排膿散及湯投与によって治療が行われています。ただしこの投与期間中の膿瘍の形態変化や漢方の投与期間に一定の見解はありません。この研究では肛門周囲膿瘍にて当院に来院された患者様の診療録をもとに、その治療方法・治療期間などの情報を収集して肛門周囲膿瘍に対する適切な治療方針を検討することを目的とします。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 7 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

来院時月齢、超音波画像所見、切開排膿の施行有無、排膿散及湯投与有無、排膿散及湯投与期間、再発の有無

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究機関 昭和大学病院 小児外科

研究責任者 昭和大学病院 小児外科 准教授 佐藤 英章

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院外科学講座小児外科部門

氏名：佐藤英章

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8789